

令和2年度 前期 ビジネス・キャリア検定試験

ロジスティクス分野

3級 ロジスティクス・オペレーション

試験問題

(13ページ)

1. 試験時間 110分
2. 注意事項
 - (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。
 - (2) 試験問題は、40題あります。
 - (3) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。
(配点) 問題1～問題40 各2.5点 合計100点
(合格基準) 試験全体として概ね60%以上の正答。
 - (4) 関係法令、会計基準、JIS等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和2年5月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
 - (5) マークシート(解答用紙)には、①試験区分名、②氏名、③座席番号、④受験番号、⑤生年月日を正確に記入してください。
なお、受験番号の最後の桁は、アルファベットですので、数字と間違えないように注意してください。
 - (6) マークシートにマークする際には、HB又はBの黒鉛筆又はシャープペンシルのいずれかで、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。
なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。
 - (7) マークシートには、所定の事項以外は絶対に書き込まないでください。
なお、計算等が必要な場合は、問題用紙の余白又は裏面を使用してください。
 - (8) マークシートにはア～エまでマークする欄があります。問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを1つだけ選んで間違えないようにマークしてください。
 - (9) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
 - (10) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
 - (11) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。
なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
 - (12) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
 - (13) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。
なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。
 - (14) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

問題文中、次の法令名等は略称で記載されています。

- ・ J I S → 日本産業規格
- ・ I S O → 国際標準化機構

問題 1 個装、内装、外装の定義に関する記述として誤っているものは、次のうちどれか。

- ア. 個装とは物品個々の包装で、物品の価値を高めるための表示、又は物品個々を保護するために適正な材料、容器などを物品に施す技術、又は施した状態であり、外装を兼ねる場合もある。
- イ. 個装と外装の中間に使用する集合箱は、内装とは異なる。
- ウ. 外装とは物流作業単位の包装のことで、ある程度の大きさを備えており、段ボール箱や、袋、樽などで包装されているものが一般的である。
- エ. 外装には、無容器のまま結束し、記号、荷印などを施した技術、又は施した状態のものも含まれる。

問題 2 包装の目的に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 包装の目的において、「荷扱いの条件付け」、「取扱いや保管、販売の利便性確保」、「内容品の保護」、「パッケージデザインによる宣伝や情報伝達」、「新品性の保証」のうち、最も重視されるものは、「新品性の保証」である。
- イ. パッケージデザイン機能には、「購買意欲の喚起」、「情報開示」と大きく2つの目的がある。
- ウ. 包装を機能別に分類した場合、一般に「工業包装」は「輸送包装」と同義であり、また、「商業包装」は、分類は異なるが、「消費者包装」と同義とされている。
- エ. 包装を施す目的の1つである「荷扱いの条件付け」は、大きく重いものは荒い荷扱いを受けにくいという特性を利用して、ある単位にまとめて包装するなど安全に輸送するための方法として利用されている。

問題 3 包装貨物の荷扱い指示マークに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. J I S の「包装物品の取扱い注意マーク」は一般消費者が包装貨物を取り扱うときの安全確保のために策定したもので、日本独自の規格である。
- イ. J I S で規定されている荷扱い指示マークは、I S O と整合されたケアマークが使用されている。
- ウ. 荷扱い指示マークのうち、「上」は保管時の貨物の姿勢を指示するもので、輸送中の姿勢を考慮したものではない。
- エ. 重量貨物の中にはケアマークを守り保管、輸送しないと不具合となる商品もあり、荷主が転倒や衝撃の検知器を取り付ける場合がある。

問題4 ユニットロードシステムに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 複数の物品又は包装貨物を、機械及び器具による取扱いに適するように、1つの単位にまとめた貨物をユニットロードという。
- イ. ユニットロードシステムの効果として荷役の合理化、物流品質の向上及び貨物の積載効率の向上が期待できる。
- ウ. 包装のモジュール化とは、ユニットロードによる物流合理化を目的とし、輸送包装寸法を得るための基準数値を適用することである。
- エ. ユニットロードシステムを利用して自動車、船舶、航空機など単一の運送人が複数の輸送機関を組み合わせて輸送することを複合（一貫）輸送という。

問題5 ユニットロードに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 雑貨類、食料品、農産物など雑多な形状の商品をユニット化する場合、平パレット上に積み付け、ストレッチフィルムにより荷崩れを防止することが多い。
- イ. ビールや清涼飲料水の一部など、リターナブルボトルを用いて包装された商品は専用のフレキシブルコンテナを利用し輸送されている。
- ウ. シートパレットを使う場合、発地と着地にプッシュプルフォークが必要になるため、初期投資がかさむというデメリットがある。
- エ. 家電品のような段ボール箱で包装された工業製品では、ロールボックスパレットを使いユニット化する事例が多い。

問題6 パレットに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. シートパレットは、積載面の長さ×幅（mm）によって表され、その数値にはタブ幅（mm）も含まれる。
- イ. 日本における一貫輸送用平パレットには、1,200mm×1,000mm のものが使用されている。
- ウ. プランビューサイズとは、パレットに実際に貨物を積んだ状態で貨物の最突出部で実測した高さをいう。
- エ. プールパレットは、広範囲の業種及び各輸送機関で相互に共通して使用する、互換性のあるパレットをいう。

問題7 コンテナに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. コンテナ使用の輸送上のメリットの1つは、荷主側でユニット化が可能であるため、想定外の衝撃が加わることによる製品破損の心配が少ないことである。
- イ. コンテナが外装容器という考え方から、コンテナ内貨物に求められる保護機能は大幅に緩和され包装費の低減が図られる。
- ウ. 国際貨物コンテナの1AAAと1AAは、外法寸法の高さ、幅、長さの値が同じである。
- エ. コンテナ船のオンデッキに積載の場合、コンテナ内部天井近くで60℃近くになることがあり、温湿度の日較差によりコンテナ内で結露が生じる可能性がある。

問題8 コンテナに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 国際貨物コンテナは、日本国内すべてのJR貨物のコンテナ取扱駅で取り扱うことができる。
- イ. 鉄道用コンテナの私有31ftコンテナは、大型トラックとほぼ同じ容積を持ち、モーダルシフトに活用されている。
- ウ. 航空貨物輸送のユニットロードには、パレット・ローディング方式とコンテナ・ローディング方式がある。
- エ. 粉粒状貨物の輸送に使われるフレキシブルコンテナには、繰り返し使用するランニングコンテナと使い捨て前提のクロスコンテナがある。

問題9 荷役・MH（マテリアルハンドリング）の概念に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 荷役とは、物流過程における物資の積卸し、運搬、積付け、ピッキング、仕分け、荷揃え等の作業及びこれに付随する作業のことである。
- イ. 荷役における運搬には、輸送や配送も含まれている。
- ウ. MHは、あらゆる場合と時と場所とで、運搬を合理化し、運搬手法を活用して、経済性、生産性を向上させることを目的としている。
- エ. 荷役は、MHともいうが、MHの方が広い概念である。

問題10 荷役に関する以下の記述において、() 内に入る語群の組合せとして適切なものは、次のうちどれか。

物流の基本機能は、モノの (A) であり、それによって、空間的・時間的な (B) を生み出している。それに対して (C) は、直接その (B) を生み出しているわけではなく、いわば (A) に伴う (D) 的な作業である。しかし (C) は、(A) を行うためにはなくてはならない作業であり、しかも物流活動の多くの (E) で発生するため、物流活動の (F) を左右する重要な要素なのである。

[語群]

1. 効率性 2. 成果 3. 付加価値 4. 価値連鎖 5. 結節点
6. 経路 7. 輸送と保管 8. 荷役 9. 付随

- ア. A:8 B:3 C:7 D:4 E:6 F:2
イ. A:8 B:4 C:7 D:9 E:5 F:3
ウ. A:7 B:3 C:8 D:9 E:5 F:1
エ. A:7 B:4 C:8 D:3 E:6 F:2

問題11 MH (マテリアルハンドリング) の合理化・効率化に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. MHの合理化・効率化を行うことによって、物流過程におけるコストを削減することが可能となる。
イ. MHの合理化・効率化は、省人化・省力化に効果がある。
ウ. MHの合理化・効率化とは、あらゆる作業の機械化・自動化を図ることである。
エ. MHの合理化・効率化を行うことによって、作業環境の改善を図ることができる。

問題12 保管の機能に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 倉庫では生産と消費との需給のバランスをとり、品切れしないよう適正に在庫管理を行っており、この機能を現物管理機能という。
イ. 倉庫では貨物を一時保管し、輸送機関相互の能力差を調整しており、この機能を輸送調整機能という。
ウ. 寄託者からの請求に基づき倉庫業者が発行する「倉荷証券」を担保に証券所持人は金融的措置を講ずることができ、この機能を信用付与機能という。
エ. 倉庫は、包装・品揃え・流通加工や配送といった流通付帯業務を提供することにより、物流経路の一拠点として位置付けられ、この機能を物流拠点機能という。

問題13 以下に示す営業倉庫の料金に関する記述と料金方式名<語群>との組合せとして正しいものは、次のうちどれか。

1. 寄託物の寄託申込価格の高低にかかわらず、段ボール箱1個当たりいくらと決める料金方式
2. 寄託物の従価率と従量率によって決まる保管料単価に、積数を掛けて求める料金方式
3. 量販店などとの契約で多く利用され、倉庫を通過した商品の毎月の金額（商品の仕入れ価格など）の一定率で決める料金方式
4. 倉庫の一定の区画を荷主に有償で貸して、庫内作業は倉庫業者が行う料金方式

<語群>

- A. 従価方式 B. 個建単価方式 C. スペース貸し（俗称、坪貸し）
D. テナント貸し E. 普通倉庫保管料

- ア. 1:B 2:E 3:A 4:D
イ. 1:D 2:A 3:E 4:C
ウ. 1:E 2:A 3:C 4:D
エ. 1:B 2:E 3:A 4:C

問題14 倉庫の種類に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 倉庫は営業倉庫、自家倉庫、農業倉庫、協同組合倉庫の4つに大別される。
イ. 営業倉庫は寄託約款に基づく物品の保管責任と荷役責任が発生するものをいう。
ウ. 営業倉庫のトランクルームは、コンテナや物置きなどのレンタル収納の倉庫のことである。
エ. 冷蔵倉庫は0℃以下の物品を保管する倉庫のことである。

問題15 フォークリフトに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. フルフリーマストは、国際海上コンテナやバン型トラックの中など天井高の低い場所での荷役作業に利用される。
イ. フォークリフトの定格荷重は、基準荷重中心（ロードセンター）に荷の重心を積載した場合の許容荷重なので、それより先に荷の重心位置があると許容荷重は減少する。
ウ. 同一のフォークリフトなら、直角積付け通路幅は使用するパレットサイズにかかわらず一定である。
エ. ラテラル・スタッキングトラック（Lateral Stacking Truck）とは、車両の進行方向の両側にあるパレットを荷役できるフォークリフトで、通路幅を最少にできる。

問題16 ラックの種類とその説明の組合せとして不適切なものは、次のうちどれか。

ア. 回転ラック：

取り出したい棚が所定の場所まで回転移動するラックで、少品種多量貨物の保管に適している。

イ. パレットラック：

主に、パレットに積載された貨物の保管用として利用されるラックで、入出庫はフォークリフトにより行われる。

ウ. 移動ラック：

棚が水平移動できるラックで、通路を開閉できる特徴があり、図書館や冷蔵倉庫内の保管等で利用されている。

エ. 流動ラック（フローラック）：

保管物が、棚部分に取り付けられた通路側に傾斜したローラーコンベア、ホイールコンベア、レール等によって重力で移動するラックで、パレット単位やケース単位やバラ単位の貨物用がある。

問題17 保管機器の仕様の選択に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア. 保管効率を優先するSP（ストックポイント）は、平面利用率と空間利用率の高い保管機器を選択する。

イ. 保管とオーダーピッキングを兼ねる保管機器の選択では、入庫ロットサイズの大きさに合わせる。

ウ. パレットサポーターは、平パレットに取り付けられて段積みされる保管機器であり、ネスティングラックと同等の保管能力がある。

エ. 移動ラックは、保管効率が高くできる上に多頻度ピッキングに適している。

問題18 物流センターにおける流通加工業務に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア. 流通加工とは、入荷した商品や製品に加工などで付加価値を加えることである。

イ. 荷主からのコストダウン要求の高まりにより、流通加工の重要性は低くなる傾向にある。

ウ. 流通加工は、受注後、個別のオーダー単位で加工するのが基本である。

エ. 加工ミスは、重大欠陥につながりやすいため、加工特性に応じた作業のしくみと管理体制が必要である。

問題19 物流拠点のタイプに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. S Pとは、保管機能を重視した物流拠点のことをいう。
- イ. D Pとは、一般に狭域を対象とした小型の配送拠点のことをいう。
- ウ. インランド・デポとは、港湾・空港以外の内陸部にある国際貨物輸送基地のことである。
- エ. トラックターミナルとは、貨物の保管機能を中心とした物流拠点のことである。

問題20 物流センターの立地選定の評価項目に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. ロジスティクス戦略における物流センターの位置付けが明確になっているか。
- イ. 輸配送に対する道路条件や物流業者の有無などの環境条件及び稼働時間の制約があるかどうか。
- ウ. 物流センターの計画目標・方針及び顧客（納品先）に対する配送リードタイムが適合しているか。
- エ. 取扱商品と物流センター内作業との適合性が十分であるか。

問題21 物流センターのワンウェイ型ブロックプランに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 作業場を工程順に配置しやすいので、物流センター内の作業及び管理が効率的に行える。
- イ. 入荷した商品を短時間で出荷することができる。
- ウ. 立体自動倉庫を利用する場合は、設備及び運用を効率化できることが多い。
- エ. 入荷と出荷の時間帯を分けられる場合には、入出荷スペースを融通しあえる。

問題22 物流センターにおける人材育成に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 人材育成の内容には、業務遂行に必要な知識、技能・技術、取組み姿勢などがある。
- イ. 人材育成の方法には、O J T (On the Job Training) とO f f - J T (Off the Job Training) に加え、自己啓発がある。
- ウ. 物流センターでは非正規社員比率が高い場合でも、正社員に対する管理者教育を重点的に行う必要がある。
- エ. 人材育成を行うためには、企業と労働者が職業能力を適正に評価できる共通の「ものさし」としての指標が不可欠である。

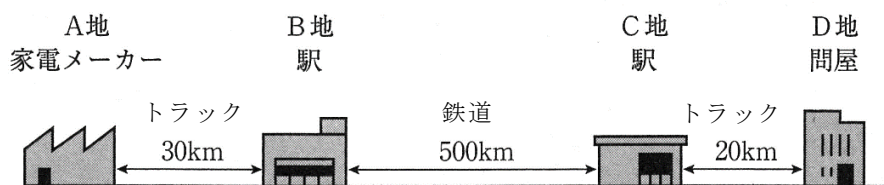
問題23 自家輸送に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 自家輸送とは、貨物の所有者がトラック等の輸送手段を所有して、自ら運ぶことをいう。
- イ. 国内貨物輸送トン数は、営業輸送よりも自家輸送のほうが少ない。
- ウ. 自家輸送の長所の1つとして、輸送コストが明確になりやすいことが挙げられる。
- エ. 自家輸送の短所の1つとして、輸送エリアを拡大すると、輸送コストが急増することが挙げられる。

問題24 我が国の製造業における生産・調達のグローバル化に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 1990年代に入り、日本企業は海外製品への対抗上、付加価値の高い製品は、人件費、土地代、税金等のコストメリットを求めて海外に工場を移すようになった。
- イ. 部品や半製品の調達について、国内の系列会社からの調達から、グローバル調達への変化が起こっている。
- ウ. 生産・調達等にかかる企業戦略は、為替レートや現地人件費、その国の誘致政策の変化及びカントリーリスクの大小によって変わり、国内生産への回帰現象も一部で起こっている。
- エ. コンテナリゼーションの進展により国際複合一貫輸送が増加している。

問題25 下図は、テレビ10トンの貨物を電気メーカーから問屋まで輸送する経路を表している。この場合、貨物流動量の総輸送トン数、総輸送トンキロに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。



(参考：「数字で見る物流 2019年度」一般社団法人日本物流団体連合会)

- ア. 鉄道貨物輸送総トン数 10トン
鉄道貨物輸送総トンキロ 500トンキロ
- イ. トラック貨物輸送総トン数 20トン
トラック貨物輸送総トンキロ 11,000トンキロ
- ウ. トラック貨物輸送総トン数 10トン
トラック貨物輸送総トンキロ 1,000トンキロ
- エ. トラック貨物輸送総トン数 20トン
鉄道貨物輸送総トンキロ 5,000トンキロ

問題26 国内航空貨物輸送に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 国内貨物輸送トン数に占める「航空」の割合（分担率）は、1%にも満たない。
- イ. 近年の地方空港における路線及び便数の拡大を受けて、現在では、地方路線の輸送量が、幹線の輸送量を上回っている。
- ウ. 国内航空貨物輸送において、貨物は、すべてコンテナやイグルー等の輸送容器（ULD）に収納して輸送される。
- エ. 現在、国内間の航空貨物輸送において、貨物専用機の運航が増えている。

問題27 鉄道輸送の動向に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 国内貨物輸送トン数に占める鉄道輸送の割合（分担率）は、ここ20年間はほぼ横ばいで推移している。
- イ. 車扱い輸送の主要品目は石油、セメント及び石灰石などである。
- ウ. コンテナ輸送の主要品目は食料工業品、積合せ貨物、紙・パルプなどである。
- エ. スーパーレールカーゴは、16両編成で12ftコンテナを積載し、東京－大阪間を約6時間で運行している。

問題28 貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 一般貨物自動車運送事業とは、不特定多数の荷主の貨物を有償でトラックを利用して輸送を行う事業であり、宅配便事業はこの範疇には含まれない。
- イ. 特定貨物自動車運送事業とは、特定の貨物を有償でトラックを利用して輸送を行う事業である。
- ウ. 貨物軽自動車運送事業とは、軽自動車、2輪自動車、自転車、リヤカーなどを利用して貨物運送を行う事業である。
- エ. 第1種貨物利用運送事業（自動車）とは、^{よう}備車による貨物運送だけを行う事業であり、物流子会社などの形態に多い。

問題29 鉄道コンテナ輸送に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 鉄道コンテナ輸送は、大量で、かつ、輸送距離300kmを超えると経済的に優位性があるといわれている。
- イ. 発荷主の戸口から着荷主の戸口まで、コンテナのまま届ける輸送システムが、鉄道輸送の主流になっている。
- ウ. 鉄道コンテナの幹線輸送はJR貨物や臨海鉄道などが行い、その両端の集貨・配達については、トラック事業者であれば、自由にできる。
- エ. 12ftコンテナの内容積と標準的な4tのバン型トラックの内容積は、ほぼ同じである。

問題30 工場や輸配送センターから納品先に届ける場合の最適な輸配送ネットワークの構築に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 時間指定がある場合は、最も早い指定時刻の配送先を優先してコースを組む。
- イ. 早く届けないと商品価値が低下してしまうものは、輸送コストよりスピードを優先する。
- ウ. 個別企業単独で輸配送の効率化を図るには限界がある場合は、異業種や同業種による共同配送の可能性を検討する。
- エ. 複数のセンターがある場合、各センターの配送エリア分けは、道路、地形状況等の地理的条件よりも、行政区域によるエリア分けを優先する。

問題31 輸配送システムに使用されているIT機器等に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. デジタルタコグラフ（デジタコ）とは、時間、速度、距離、エンジン回転数などの運行データをメモリーカードなどにより記録する車載機器である。
- イ. トラック予約受付システムとは、トラック側が、物流施設側へ到着時刻等の情報を携帯端末等から事前に予約することで、トラックの待ち時間節約や物流施設側の作業効率アップを図ることができるシステムである。
- ウ. 求荷求車システムとは、インターネットなどの情報システム機能を利用して車両と荷物の情報をマッチングさせるシステムである。
- エ. 運行管理システムでは、車両管理、乗務員管理、勤怠管理などができるため、配車担当者は規定による乗務割を作成し、運行管理者の許可なく、運転者に乗務指示ができる。

問題32 配車業務に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 配車の良し悪しによって、輸配送コストが大きく変動するので、配車担当者の知識や能力向上を図ることは極めて重要である。
- イ. 事業用自動車（トラック）の運行において、過積みになっていないか、乗務員の労働条件は法令等に準拠しているか、健康状態はどうかなどの管理責任は配車担当者にある。
- ウ. 配車管理とは、出荷依頼（又は集荷依頼）に基づいて、積載能力の異なる複数の車両や乗務員を割り当て、集配ルートを設定することである。
- エ. 配車支援システムでは、納品先がほぼ決まっていて、納品先マスターが事前に存在する配車システムと、新規納品先が頻繁に発生し不特定のところへ納品する配車システムとは仕組みが異なる。

問題33 運行管理と法令管理に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 自らが所有する鉄道線路によって貨物の運送を行う事業を第二種鉄道事業という。
- イ. トラックドライバーがフェリーに乗船した場合の乗船時間は、原則として休息期間として取り扱われる。
- ウ. 運行管理者資格証の交付を受けるには運行管理者試験に合格するか、国土交通省令で定める一定の実務経験とその他の要件を備える必要がある。
- エ. 日々のトラックの運行状況の把握については、無線やパケット通信を利用したシステムが使われるようになってきた。

問題34 国内取引と比較した場合の貿易取引の特徴に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 輸送中の在庫に係る金利や品切れ損失などの費用は、物流部門に負荷される。
- イ. 輸送過程で貨物事故や損傷が生じる可能性が低いため、仕向地にかかわらず梱包や包装は簡易なもので済ませることが多い。
- ウ. 商品が相手先に届くまで時間がかかるため、輸出者はすぐに代金回収できず、その間の資金負担が大きい。
- エ. 輸出入者間の取引は大半が同一通貨により行われており、代金決済で通貨交換が必要となることは少ない。

問題35 海上輸送に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 海上輸送をより効率的に行うために、外航船舶は積載貨物を限定し、貨物の性質や形状に合わせて船舶と荷役装置を設計するなど専用船化が進展した。
- イ. 船舶が大型化すると、積載貨物1t当たりの建造コストや運航コストが低下するため、近年、大量輸送による効率化をねらった船舶の大型化が進んでいる。
- ウ. 3大バルクとは、原油と鉄鉱石と石炭のことである。
- エ. 日本商船隊の多くは、船舶税や法人税の優遇措置があるパナマやリベリアなどに籍を置き、フィリピンなどの外国人船員によって運航されている。

問題36 国際航空貨物に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 海上輸送と比べ、航空輸送の分野における規制緩和の進捗が顕著であり、その結果、航空会社間で激しい競争が行われるようになった。
- イ. 航空路線別の輸送量を見ると、アジアを中心とした路線の成長率が高い。
- ウ. 現在も、大量の貨物を輸送できる貨物専用の大型ジェット機の利用が拡大している。
- エ. 日本の貿易量に占める航空貨物量の比率は、質量ベース、金額ベースともに20%台である。

問題37 国際複合輸送に関する記述として誤っているものは、次のうちどれか。

- ア. 2つ以上の異なる輸送手段を組み合わせる方法を複合輸送と呼ぶ。
- イ. 複合運送人が発行する複合運送証券は、船荷証券とほぼ同様の機能を有する。
- ウ. 日本の複合運送人が手がけてきた主な国際複合輸送ルートは、欧州向け、米国東岸向け、中国内陸部向けが中心となっている。
- エ. 複合運送人は、自らは実運送手段をもたない利用運送事業者である。

問題38 運送と保管にかかわる約款に関する記述として誤っているものは、次のうちどれか。

- ア. 標準宅配便運送約款では、荷受人以外の者に対する引渡しを認めていない。
- イ. 標準貨物自動車運送約款では、運送事業者が、品代金の取立て、荷掛金の立替え、貨物の荷造り、仕分、保管その他の貨物自動車運送事業に附帯する業務を有償で引き受けることを認めている。
- ウ. 標準引越運送約款では、どのような場合に引越運送の引受の拒絶ができるかについて規定されている。
- エ. 標準トランクルームサービス約款では、トランクルームで保管できる特定物品として、家具類や衣服類、文書・書籍類などが示されている。

問題39 運輸・倉庫に関連する法規に関する記述として誤っているものは、次のうちどれか。

- ア. 貨物自動車運送事業法では、特別積合せ貨物運送は、特定貨物自動車運送事業に分類される。
- イ. 貨物自動車運送事業者は、点呼時に運転者の酒気帯びの有無について、目視等で確認するほか、アルコール検知器を用いて確認しなければならない。
- ウ. 消防法では、所轄消防長又は消防署長の承認を受ければ、許可を受けた貯蔵所以外の場所で、10日以内の短期間、臨時的に指定数量以上の危険物を、仮貯蔵、又は取り扱うことができる。
- エ. 貨物自動車運送事業法において、安全管理規程を定める必要のある貨物自動車運送事業者は、事業用自動車（被けん引自動車を除く。）の数が200両以上の事業者である。

問題40 J I Sに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. J I Sで規定されているパレット寸法には、I S Oで規定されている1,067mm×1,067mmのパレットが含まれている。
- イ. J I Sとは、日本の産業製品に関する規格や測定方法などが定められた日本の国家規格のことである。
- ウ. J I Sで規定されている「包装モジュール寸法」を守らない場合においても罰則規定はない。
- エ. J I Sで規定されている「荷扱い指示マーク」とは、荷扱い作業者に対して、荷扱い方法を直感的に判断してもらうためのマークである。